



経済情報コーナー

神奈川県・メリーランド州友好提携 30周年事業で知事のトップセールス！

神奈川県県民局くらし文化部国際課グループリーダー 桑崎 純

本県は、自然、歴史、都市、産業集積など多くの観光資源に恵まれています。一方で、首都圏に位置し、そのアクセスの良さゆえに、本県への旅行者の9割以上が、首都圏からの日帰り客となっています。そのため、観光消費を通じた経済波及効果の高い、宿泊を伴う外国人旅行者を本県に誘客することはとても重要です。

本県を訪れる外国人旅行者数は、2010年には前年を40万人上回る153万人と過去最高となりました。しかし、2011年3月の東日本大震災と原発事故などの影響を受け、2011年の訪日外国人旅行者数は、日本政府観光局（JNTO）の統計によれば、前年に比べ、27.8%減となりました。本県においても、外国人旅行者数の大幅な減少が見込まれたこともあり、外国人旅行者の誘客に向けた、海外における観光プロモーション強化に取り組むこととしました。

そうした中、昨年は、本県と米国・メリーランド州が、1981年4月に友好提携を締結してから30周年の節目の年であり、黒岩知事が、10月26日から29日までの間（現地時間）、米国（メリーランド州およびワシントンD.C.）を訪問しました。

そこで、この機会に合わせ、現地において、神奈川の名産品や現地旅行エージェントに対する県内観光地のトップセールスを行うとともに、経済、教育等の分野における友好提携30周年記念事業を実施しました。

■ 10月26日 ■ メリーランドでの歓迎レセプション

訪米初日の10月26日は、黒岩知事を歓迎するレセプションが、メリーランド州政府や現地在住の

神奈川ゆかりの方々により、同州ボルチモアにあるウォルターズ美術館において、開催されました。

現地の方々からのおもてなしに対し、神奈川から持参した本県企業の製品であるボトル詰めの高級茶をワイングラスに注いで乾杯した後、神奈川の地酒やおつまみ、お菓子を振る舞うなど、神奈川の豊かな食を現地の皆さまに楽しんでいただきました。

また、会場では、神奈川の観光紹介ビデオを流すとともに、持参した県産品の箱根細工、鎌倉彫、小田原漆器などを展示し、知事自らが神奈川の魅力をPRしました。デザイン性にも優れた手作りの伝統工芸品を手に取り、作り方や価格について質問する方もあり、反応は上々でした。



初日の歓迎レセプション

■ 10月27日(午前) ■ 高校訪問

2日目の27日は、まず午前中、知事がメリーランド州立ブーンズボロ高校を訪問し、同校と神奈川県立七里ガ浜高校との姉妹校協定書の調印式に出席して、両校の交流の門出を祝福しました。



メリーランド州立ブーンズボロ高校

■ 10月27日(午後) ■ 企業誘致活動

午後には、メリーランド州ジャーマンタウンで

開催された「メリーランド・神奈川バイオ・ライフサイエンスセミナー」において、現地企業関係者ら約50人を前に、神奈川の優れたビジネス環境や県内進出に当たっての支援策を紹介し、企業誘致のトップセールスを行いました。



メリーランド・神奈川バイオ・ライフサイエンスセミナー

■ 10月28日(午前) ■ ワシントンD.C.での講演会

28日の午前中は、ワシントンD.C.の在米日本国大使館にご協力をいただき、日本大使館広報文化センター（JICC）をお借りして、現地の米国国務省外務職員局（FSI）研修員や研究員、駐在員、報道関係者ら約100人の聴衆を前に、藤崎在米日本国大使と知事が講演を行いました。

講演において、知事は、東日本大震災における米国の日本への支援「オペレーション・トモダチ」に対し謝辞を述べ、神奈川から始まるエネルギー革命としての太陽光発電の普及策「かながわスマートエネルギー構想」の概要や、産業の国際競争力強化に向けての「ライフサイエンス」と「グリーンイノベーション」特区構想などを紹介しました。

また、地域の個性と魅力をそれぞれに輝かせ、行きたいな、住みたいなというマ



ワシントンD.C.での知事講演

グネット力（人を引きつける力）あふれる「マグネット神奈川」の実現に向け努力すると述べるとともに、「日本の復興は神奈川県から始まる」と強調しました。講演後に、引き続き参加者と意見交換を行い、交流を深めました。

■ 10月28日(午後) ■ 観光プロモーション

午後には、同在米日本国大使館の旧公邸におい

て、現地旅行エージェント約30人を対象に、観光プロモーションを行いました。

JNTOニューヨーク事務所長に、東日本大震災後の日本の状況をお話いただいた後、知事が、神奈川の安全性をアピールするとともに、アクセスの良さや横浜・鎌倉・箱根など、神奈川の観光の魅力プレゼンテーションしました。



観光プロモーションでの知事のプレゼン

その後の現地旅行エージェントとの意見交換においては、神奈川にある具体的な観光施設やイベントに関するご質問をいただき、また、鎌倉を訪れたことがある現地旅行エージェントが、鎌倉の魅力を他のエージェントに説明するなど、大変活発な意見交換となりました。

■ 訪米の成果と今後に向けて

今回の訪米から約2か月後の2012年の年頭に、知事は、横浜・鎌倉・箱根に続く海外にも発信できる第4の観光の核づくりを進める『かながわ新観光戦略』、そして、神奈川ゆかりの外国人の方々をネットワークする「かながわ国際ファンクラブ」を結成し（2012年5月2日発足）、外国人観光客誘致などにつなげていく『かながわ新外交戦略』を発表しました。

このように、米国において、本県の名産品や観光地、産業について、知事自らがトップセールスを行い、本県魅力をPRするだけでなく、その後新たな政策の展開につながったことは、今回の米国訪問の大きな成果です。

なお、観光関連の取り組みには、クレアの「平成23年度海外経済活動支援特別対策事業」を活用させていただきました。文末になりましたが、感謝申し上げます。